

十勝管内 帯広市立豊成小学校

1 学習活動の概要

アイヌ文化の特色について理解を深めるとともに、それらを尊重しようとする態度を育むため、総合的な学習の時間に「ウポポイ」の各施設の見学やアイヌ文化の体験活動等を指導計画に位置付け、アイヌ文化と自分たちのつながりを明らかにすることを課題とする探究的な学習活動を展開しました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

単元の導入において、社会科でのアイヌ文化に関わる学習を振り返るとともに、「ウポポイ」の施設内を調べることで、アイヌの人たちの歴史・文化等への興味・関心を高め、「アイヌの人たちの文化の特色を調べ、自分たちとのつながりを明らかにしよう」という学習課題を設定しました。



【ICTを活用した事前学習】

(2) 情報の収集

児童は、社会科の教科書やインターネット等を活用して、アイヌの人たちの文化について調べ学習を行いました。その後、修学旅行において、国立アイヌ民族博物館の見学及び「アイヌ古式舞踊」の鑑賞を通して、アイヌ文化に関する情報収集を進めました。



【展示物の調査活動】

(3) 整理・分析

収集した情報を整理・分析し、児童は、アイヌ文化の伝承に関わる考え方（自然との共生・伝統文化の継承）、自分たちの生活とアイヌ文化のつながりについて理解を深め、アイヌ文化を尊重する気持ちをもつことの大切さに気付きました。



【学芸員による講話】

(4) まとめ・表現

レポート及び壁新聞等の作成、それらの交流等の活動を通して、アイヌ文化の特色について理解を深めるとともに、アイヌの人たちとの「共生」を考えながら自分たちとのつながりを見いだしました。

3 児童の感想等

- ・博物館に展示されていたアイヌ文様や装飾品がとても美しく、これらを生み出したアイヌ文化はすごいと思いました。
- ・自然のものを活用して作られた道具や服飾品がたくさんあり、アイヌの人たちは自然を大切にしながら生きているのだと感じました。
- ・「アイヌ古式舞踊」を鑑賞し、迫力ある映像と踊りが素晴らしく感動しました。アイヌの人たちが表現していることや、伝えようとしていることを感じることができました。
- ・実際にウポポイへ行って見て、踊りや服装など、資料からでは分からなかったアイヌの人たちの文化に触れることができ、興味をもつことができたので、これらもっと知ることができるようになりたいと思いました。